

海外研修助成をいただき、2008 年 9 月 22 日から 9 月 30 日の間アメリカ合衆国テキサス州オースチン市へ行ってきました。テキサス大学図書館とオースチン公立図書館を訪問し、オースチン公立図書館の制度的な人種隔離撤廃に関わる文献調査を行うことが主な目的でした。

私は本年度、アメリカ公立図書館の黒人(現在は主にアフリカン・アメリカン、アフロ・アメリカンと呼ばれる人々)に対する人種隔離について研究しています。そしてその中でも、1954 年以前に制度的な人種隔離を撤廃した公立図書館の事例をひとつ取り上げ、調査を行っているところです。1954 年は、ブラウン対トピカ市教育委員会裁判の合衆国最高裁判決の年にあたります。

まず先行研究を読み進めていく中で、調査対象の州をテキサス州に決めました。しかし日本で関連資料を入手することが困難であったため、助成に応募させていただき次第です。至らない内容ではありましたが、合格の通知をいただいた時の喜びは大きいものでした。

実は助成をいただいた当初、テキサス州のいずれの公立図書館を調査対象とするか決めかねているところでした。そのため、テキサス大学図書館で当時の黒人新聞、雑誌をひたすら読み、その中から調査対象となる公立図書館の情報を得ようと考えていたのです。

しかし調査を進めつつ、現地の人々と何度かメールでやりとりしていくうちに、訪問先であるオースチン公立図書館が 1951 年に隔離を撤廃していたということが判明しました。そこで州都であるにも関わらず、当時のテキサス州法の規定と異なって公立図書館の隔離が撤廃されていたのはなぜか、ということに着目し、同館を調査対象としました。

さらに同館の調査を行うにあたり、主要な資料の多くがオースチン公立図書館の分館である Austin History Center に所蔵されていることがわかりました。また、Austin History Center の職員である Karen Riles さんという方が、アフリカン・アメリカン史にとっても詳しいということもオースチン公立図書館中央館の職員の方から教わりました。

そこで今回の研修では、Austin History Center での文献調査を中心に行いました。もちろん、テキサス大学図書館の中央館である Perry-Castañeda Library や、法律専門分館である Jamail Center for Legal Research · Tarlton Law Library、歴史センター分館である Center for American History でも調査を行い、いくつかの関連資料を入手することができました。

入手した資料の一例として、当時のオースチン公立図書館委員会議事録(1934 年～1954 年)や、中央館を黒人に開放することが論議されたオースチン市議会の議事録(1951 年)、当時の地域新聞である *Austin Stateman* や *Daily Texan* の記事、当時のオースチン市の人口統計、人種隔離撤廃に大きな役割を果たした William Astor Kirk や Emma Long のインタビュートランスクリプトなどが挙げられます。この他にも有益な資料を多く得ることがで

きました。そしてテキサス大学図書館とオースチン公立図書館を利用するということが自体が、私にとって非常に良い経験でした。

また、オースチン公立図書館の中央館である **Faulk Central Library** と、資料を閲覧した **Austin History Center**、以前黒人用分館であった **Carver Branch** を見学することができました。実際に見てみて、人種分け隔てなくサービスされている様子や、職員の方々も人種を問わずいきいきと働いている様子が見られました。私に多くの資料を提供して下さった **Karen Riles** さんもアフリカン・アメリカンの女性で、日本人の私に対して非常に親切に接していただきました。

さらに今回の滞在では、ブラウン対トピカ市教育委員会裁判に **NAACP**(全国黒人向上協会)トピカ支部秘書として関わった **Lucinda Todd** さんのご家族、**Noches** さんご夫妻へのインタビューも実現することができました。私の拙い英語にも関わらず、お二方とも快くインタビューに応じていただきました。お二方を紹介して下さったのもオースチン公立図書館職員の **Susan K. Soy** さんです。このような貴重な機会をいただいたことはとても有り難いことでした。

こうして振り返ってみますと、今回の研修は、本当に多くの親切な方々に助けられたと感じています。

まず、本学溝上先生のご紹介で知り合ったテキサス大学 **Lynn Westbrook** 助教授には、渡航前から何度もメールを交わし、オースチン市の人々を多くご紹介していただきました。現地でも、**Austin History Center** に確認の電話をしていただいたり、滞在最終日前夜にお宅に泊めていただいたり、空港まで送っていただいたりと、数え切れない程お世話になりました。また、資料を収集するにあたり、**Karen Riles** さん、**Susan K. Soy** さんをはじめとするオースチン公立図書館の職員の方々、テキサス大学図書館の職員の方々に多く助けられました。拙い英語で話す日本人に対して、皆親切に対応していただきました。

そしてアパートメントの部屋を貸してくれた **Eugenia Beh** さん、アパートメントの管理人である **Houston** さんご一家にも、本当にお世話になりました。私が一週間安心して滞在中を楽しむことができたのも、こうした人々がいたからです。知り合いになった人々だけでなく、道行く知らない人にも何度となく助けられ、無事研修を終えることができました。

人のつながりと温かさに支えられたオースチン市での一週間は、私にとって大変貴重なものでした。最後に、このような機会を与えて下さった茗溪会支部橘会の皆様と、図書館メディア研究科、図書館情報専門学群の諸先生方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。